

金沢医療センター 市民公開シンポジウム

大震災に備える

—東日本大震災への医療支援を通して考えたこと—

私たちがこれまで経験したことのない被害をもたらした東日本大震災発災から1ヵ月がたちました。地震・津波の被害が甚大であったばかりでなく、原子力発電所事故による被ばくが大きな問題となっています。これまで当院では現地に11班の医療チーム派遣を行ってきました。これらを通して今回の災害への対応、そして今後起こりうる災害への備えを考えていきたいと思えます。

医療関係者のみならず、一般の方の参加もお待ちしています。多数ご来場下さい。

【日時】

平成23年4月20日(水)
18時30分～20時30分

【場所】

金沢医療センター
外来管理棟3階講堂

【シンポジウムの内容】

1. 災害急性期の医療支援を考える
2. 難所や在宅避難における医療の問題を考える
3. 被ばく問題について考える
4. こころのケアについて考える